

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	18 - デ学 - 7
-----------------	-------------

平成18年度配分 研究成果の概要

研究名	新カリキュラムの具体的研究				
配分を受けた 特別研究費	デザイン学部長特別研究費				800 千円
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏 名	共同研究の 場合の分担
	デザイン	生産造形	准教授	迫 秀樹	全体総括 具体化案策定
共同 研究 者	デザイン	メディア造形	准教授	佐藤 聖徳	具体化案策定
	デザイン	生産造形	教授	坂本 鐵司	具体化案策定
	デザイン	空間造形	教授	寒竹 伸一	具体化案策定
	デザイン学部 教務委員会	生産造形	教授	黒田 宏治	具体化案策定
	デザイン学部 教務委員会	メディア造形	教授	長嶋 洋一	具体化案策定
	デザイン学部 教務委員会	空間造形	教授	古瀬 敏	具体化案策定
発表の方法 (予定で可)	1 紀 要		号 数	第 9 号 (21 年 3月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	
	3 その他 発表の方法:新カリキュラム具体化研究報 告書		発表日 (発表 予定日)	平成 20年 8月 日	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

平成 17 年度のカリキュラムに関する研究プロジェクトの研究報告を継続し、20 年度導入の新カリキュラムに向けて具体化案を策定する。平成 20 年以降予想される大学教育変革や社会的な教育変化に合わせた新カリキュラムの基礎を固めるとともに、その具体化に関わるさまざまな問題をあげることを中心目的とする

(研究の実施方法等)

「デザイン学部の教育目標とカリキュラムに関する研究」の研究実施方法を踏襲し、具体化のための情報収集を行う。昨年度に引き続き、デザイン系の大学の情報を聞き取り収集する。それにより、変革する社会のニーズに合わせた、本大学の新しいカリキュラムを具体化していく。各学科で直面している現実的な問題点を教務委員を通して挙げてもらい、昨年・前年度研究報告書の内容の中から具現化できる情報を選択していく。引き続き大学ヒヤリングを行う。

(得られた成果等)

昨年度に引き続き、文星芸術大学、女子美術大学、文化女子大学でのヒヤリング、情報収集を行った。

3 学科による 20 年度新カリキュラム改定会議を合同で行った。

生産造形学科、メディア造形学科、空間造形学科の具体的な新カリキュラムに向けての要求とカリキュラム研究の具体化案を重ねあわせ、具体化研究の 20 年度実現に向けて骨子を固めつつある。